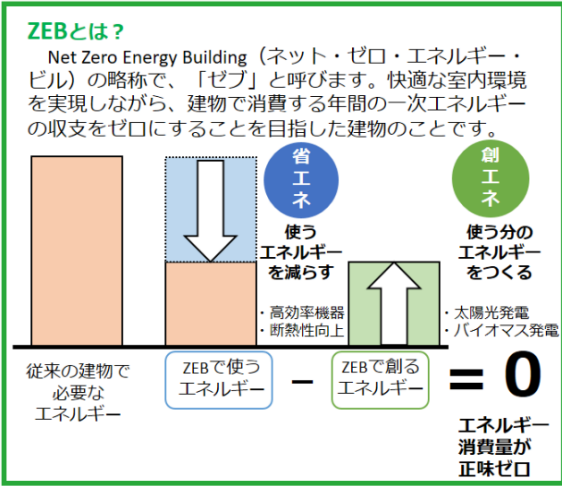


	番号	ご意見	対応	実際の記載内容など
新たな視点	1	資料2-2-2 P.4のイラスト（ZEBとは？）が見つからない。見やすくしてほしい。	部会資料を修正します。 資料2-2-2 P.4	 <p><b>ZEBとは？</b> Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。</p> <p>省エネ 使うエネルギーを減らす ・高効率機器 ・断熱性向上</p> <p>創エネ 使う分のエネルギーをつくる ・太陽光発電 ・バイオマス発電</p> <p>従来の建物で必要なエネルギー - ZEBで使うエネルギー = ZEBで創るエネルギー = 0 エネルギー消費量が正味ゼロ</p>
	2	資料2-2 P.2にある「都市マスタープランで位置づける「創造交流地区」や「賑わい交流地区」において・・・」という部分は、具体的なまちの名前を記載した方が分かりやすくしてほしい。	部会資料を修正します。 資料2-2-2 P.2、P.4、P.5	「・新宿駅周辺、高田馬場地区、四谷地区、飯田橋地区及び大久保地区において、…」に修正（青字部分修正）
	3	「シェアリングモビリティ」だけでなく、「シェアリングスペース」についても追加が必要ではないか。交通系だけで終わらせないように。	部会資料に新規ページを追加し、内容を追記します。 資料2-2-2 P.3	・公民連携による公共空間や公開空地などの一体的かつ柔軟な利活用により、地域のコミュニケーションやふれあいの「場」として、憩いと賑わいのゆとりある空間づくりを進めるとともに、感染症の拡大時にも安心して外出できるようなまちづくりを進めます。（青字部分追記修正）

新たな視点	4	エネルギー、交通（移動手段）、通信などにおいて、 <b>選択的（代替的）</b> という視点が大切であることを指摘しておく必要があるのではないか。 <b>暮らし方、働き方においても。</b>	<p>現行計画のP.22、P.34を修正します。          次回の部会資料で、ご確認ください。</p> <p>また、以下の用語を用語集に追加します。          MaaS（マース：Mobility as a Service）：地域住民や旅行者一人ひとりのトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるもの。</p>	<p>P.22戦略C 防災体制の強化 ①情報収集・伝達体制の強化 の「ねらい」に青字部分を追記          ・<b>代替性のある</b>情報伝達体制の強化</p> <p>P.34戦略f 持続的に発展する都市の推進 ①地球温暖化対策の推進 の「ねらい」を修正          ・<b>それぞれの立場で選択する地球温暖化対策への取組み</b></p> <p>③交通環境の整備の推進 の「背景」に青字部分を追記          ・<b>MaaSの活用による目的に応じた徒歩、自転車、公共交通の活用など、環境負荷の少ない交通手段の重要性が見直されています。</b></p> <p>③交通環境の整備の推進 の「ねらい」を修正          ・<b>MaaSの導入など目的に応じたシェアリングモビリティの利用促進</b></p>
			<p>暮らし方、働き方については、部会資料を修正します。          資料2-2-2 P.3</p>	<p>「<b>・感染症の拡大時にも事業継続が可能となるテレワークなどの普及にあわせ、多様な暮らし方、働き方に対応した身近な公園やオープンスペース、また、ゆとりある共有スペースのある空間づくりを推進します。</b>」を新規追加</p>

新たな視点	5	シェアリングモビリティには、 <b>自転車だけでなくセグウェイや電動キックボードなども入れて考えてほしい</b> 。例えば、シェアリングモビリティ専用レーンを作るなど、安全を確保しながら路線を指定するという事も必要ではないか。	部会資料を修正します。 資料2-2-2 P.1、P.5  また、以下の用語を用語集に追加します。 <b>グリーンスローモビリティ</b> ：時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスのこと。	・区民の新たな移動手段として、また、観光の活性化やまちの回遊性の向上が期待できる、 <b>グリーンスローモビリティやシェアリングモビリティの活用を検討</b> します。 (青字部分追記修正)
	6	「シェアリングモビリティ」だけでなく、「 <b>グリーンスローモビリティ</b> 」もある。これも追加してはどうか。	<b>シェアリングモビリティ</b> ：複数の人などで共有して使用する車、スクーター、自転車、キックボードなど、移動のための乗り物のこと。	
	7	<b>地球温暖化対策推進</b> とあるが、世界的に一般化している、 <b>気候変動対策</b> とした方が良いのでは？気候変動対策は、地球温暖化対策を含む、より包括的な捉え方となっている。	現行計画P.34 戦略 f 持続的に発展する都市の推進①地球温暖化対策の推進 の「背景」部分に反映します。 次回の部会資料でご確認ください。	・地球温暖化が進み <b>世界的な気候変動が課題となっている</b> なか、ゼロカーボンシティの実現に向けて、温室効果ガス削減のためのしくみづくりや脱炭素な暮らしに向けた取組等が求められています。(青字部分追記修正)

新たな視点	8	ZEB化も大事だが、DCPをどうするかという着目点もある。東日本大震災の時、六本木ヒルズは自立した電源を持っており、不動産としての評価を高めた。これからの建物は、防災という観点で災害が起きても対応できる、 <b>自立したエネルギーシステムを持つことも大事ではないだろうか？</b> オフィスの価値を高めるといふ事にもつながる。	現行計画P.135新宿駅直近地区、P.151新宿駅西口地区の4-2推進方策「1.具体的な手法の活用 ②建物」の部分に追記します。次回の部会資料でご確認ください。	・ <b>大規模災害時の建築物の自立性の確保</b>
	9	新宿は、令和元年にかなりコロナについて色々と言われたという事もあるので、 <b>コロナに関して何か発信したほうが良い</b> 。また、テレワークが進んだことで、仕事帰りに飲食店に寄るといふ事が少なくなり、家からわざわざ新宿に来るといふ行動の変化が起きている。また、 <b>安全確保と商売をどう両立していくのか</b> という課題もある。	現行計画の「改定にあたって」、又は、新しく作成する「改定の背景」の部分で対応していくことを検討していきます。	
	10	<b>デジタル</b> については、 <b>防災</b> の項目でもかけるのでは？	現行計画P.23「戦略C 防災体制の強化」の「1 情報収集・伝達体制の強化」、P.24の「3 地域防災体制の強化」に追記します。次回の部会資料で、ご確認ください。	(P.23に追記する内容) ・ <b>ソーシャルメディアや緊急速報メールなどの災害情報の提供ツールを活用し、迅速な情報提供体制の整備を推進します。</b>  (P.24に追記する内容) ・ <b>デジタルサイネージ、ホームページ、アプリ、SNS等を活用し、防災知識・応急救護知識の普及を図ります。</b>

新たな視点	11	<p>働き方の選択肢は増え、<b>シェアリングエコノミー</b>という考え方もある。西新宿ではお店も入れ替わってしまっていて、昼と夜の生活が変わった。新宿の夜のまちをどうするのかという視点が必要だと思う。<b>夜の新宿を立て直す</b>という事が「戦略e」に入るのでは？</p>	<p>シェアリングエコノミーは、総務省のホームページによると「個人が保有する遊休資産（スキルのような無形のものも含む）の貸出しを仲介するサービス」とされており、個人間の遊休資産のシェアを指しています。また、最近では繁華街の人の流れも戻ってきつつあるため、今後の状況を注視していきます。</p>
	12	<p><b>今回の戦争</b>については、どう捉えるのか？<b>エネルギー危機</b>にもつながっており、今後10年くらいは影響を受けそうな気がする。</p>	<p>現行計画の「改定にあたって」、又は、新しく作成する「改定の背景」の部分で対応することを検討していきます。</p>
	13	<p>新型コロナ感染症拡大の影響で自宅でテレワークが普及した。<b>日常生活圏</b>を考えることも必要ではないか。パリでは、「15分都市」など、自宅から15分で行ける地域に日常生活を送るのに必要なものをそろえるという考え方がある。新宿での<b>日常生活圏</b>をどう捉えるかという事も考えて良いのではないか？15分なのかという事もあるが、先ほどの<b>移動手段の進歩</b>も考慮して考えても良いかもしれない。</p>	<p>都市マスタープランP.13に「都市コミュニティ概念図」があり、小学校区、町会・自治会の区域、商店街の区域を示しています。「生活圏」をどう捉えるかということについては、次回都市マスタープランの改定時に検討していきます。</p>

西 早 稲 田 駅 周 辺 エ リ ア	14	明治通りは、「風のみち」としての位置づけを追記したほうが良い。	部会資料を修正します。 資料2-3 P.2	d. 明治通り沿道では、緑陰のある街路樹の整備や沿道建物の緑化などを進め、みどりと風を感じることができる都市空間づくりを進めます。 e. 明治通りとその沿道では、ゆとりある歩道や街路樹の整備、沿道の賑わいの誘導などにより、充実した歩行者空間の整備を促進します。（青字部分追記修正）
	15	諏訪通りの位置づけを書いた方が良い。	部会資料を修正します。 資料2-3 P.2	f. 明治通り、諏訪通り及び大久保通りの沿道では、街路樹と公園や沿道建物が一体となり、みどり豊かな沿道景観を形成します。（青字部分追記修正）
	16	みどりのネットワークについても追記した方が良いでしょう。	部会資料を修正します。 資料2-3 P.2	g. 戸山公園周辺のまとまったみどりの保全と拡充を進めるとともに、その周辺では、みどりの連続性に配慮した緑化を行い、みどりのネットワーク形成を図ります。（青字部分追記修正）
	17	内容に、デジタルに関するものが見られない。テレワークに良い空間づくりなど書けそうだが。	デジタル化については、課題別戦略の中で、全体事項として記載していきます。個別のエリアでは、新宿駅直近エリアや新宿駅西口エリアなど、現在具体的な検討を進めているエリアに記載していきます。	